



真宗大谷派旭川別院

旭川別院だより

夏号
2021

発行所 真宗大谷派 旭川別院
輪 番 太田 法生
〒070-0030 旭川市宮下2丁目
TEL.0166-22-2409
FAX.0166-22-2411

■印刷:植平印刷株式会社
■旭川別院ホームページ

真宗大谷派旭川別院 | 検索

見てびっくり②



蘭越町 光福寺住職

金石晃陽

蓮如上人は、私たちに語りかけて下さいます。私たちの日ごろの生き方は、人の目や世間の目ばかりを怖れている。「こんなことをしたら、世間の人は、どのように思うのか」と。

しかし、仏から見られている私自身だということを忘れて生きていくのはありませんか、とおっしゃるのです。以前、私が園長を勤めていました昆布大谷幼稚園の父親参観日に、一人のお父さんが、こんなことをおっしゃいました。ある日、子供を横に乗せて、すごいスピードで車を運転していたということです。自分の前を同じく走っていた車がスピード違反でつかまった。しかし、自分の車は、後ろを走っていたから大丈夫だったそうです。その時、つい隣の子供に「いやー、助かった。前の車は、運が悪い。見つからなくて、よかった、よかった」と言ってしまったというのです。それを聞いた子供は、どう思うのでしょうか。「悪いことをしても、見つかるのは、運のない人。見つからなければ何をしてもかまわない」。いじめの問題にしても、汚職や政治に関わる様々の問題の「根っこ」にある事柄だと思わ

れてなりません。

お念仏に生きた、昔のお年寄り「仏さまが見てござる」と、いつも言っていたのではありませんか。「仏さまが見てござる」。仏の目の中で、自分を見つめ、人生を確かめながら生きられたのです。では、何を仏さまが見てござるか。いうまでもなく、それは「私」自身です。そして、私の生きている「世」です。仏を「世間解」とも言います。世間が明らかになったという意味でしょう。仏法に出遇ったということは、わかつたつもりになっていた「私」が、そして「世」が見えてきたということでありましょう。「私」と「世」は、本来一つなのです。では、どのような「世」を「私」として生きているのでしょうか。

「たて」と「横」

親鸞聖人が、お作りになられた『正信偈』の中に、「即ち横に五悪趣を超越せり」とか、「横超の大誓願を光闡す」とおっしゃるように、親鸞聖人の著作の中には「横」という文字が、たくさん出

てまいります。「横」とは、「他力」つまり「如来の本願力」を表す言葉です。

それは同時に、なぜ親鸞聖人は「横」とおっしゃるのか。それは、私の生きている、そして、よしとしている「世」が「堅」たて「だからであります」。

「たての世」とは、すべての人間関係を、そして「いのち」のつながりを上下に限りなく引き裂いていきます。その中で、私たちの関心は、周りと比較して、自分の位置が非常に気になる。そして、少しでも自分の位置を上におきたい。そして、上を見ては、劣等感に陥り、下を見ては、優越感に浸っていく。それだけで生きているということでありましょう。よく昔から、「嫁・姑の争い」と言いますが、結局は主導権争い、「間違っても、相手の下になりたくはない」というだけの話なのでしょう。

フト思い出したのですが、私の息子が小学校二年生の運動会の時でした。開会式の直後が徒競走でして、息子が後ろから一組前で、なんと一位になったのです。親ばかなのですね。「一位になって、よかったね」と言うと、「ぼくは、一位よりもビリの方がよかった」というのです。最初は、何のことかわかりませんでしたが、よく聞いてみると、担任の先生も考えたのです。足の速い子から、ずっと並べて、最後の組が一番早い子ばかり。息子の「ぼくは、一位よりもビリの方がよかった」というのは、遅い子の組でトップよりも、ビリでもいいから早い子の組へ入りたいかったのだでしょう。進学にしても、偏差値の低い学校でトップよりも、ビリでもいいから

偏差値の高い学校へ入りたいといううなものでしょう。

御同朋

この「たての世」にありながら、「横」の世界を明らかにして下さいましたのが、親鸞聖人でありました。「いのち」そのものは、みな一つなのだと。仏の前では、人間はみな平等であると。その「横」を開いて下さるのが、「横超」といわれる「南無阿弥陀仏の本願」なのであります。蓮如上人は、この「横」への目覚めを「御同朋・御同行」とおっしゃいました。「私の親しき心の友・兄弟よ」という意味です。

かつて、学校でも職場でも地域でも「仲間づくり」ということが、盛んに言われました。しかし、「仲間づくり」が言われれば、言われるほど「いじめ」がおこってきたのです。

なぜなのか、悲しいことに、私たちは、どこで仲間をつくるのかと言いますと、勉強にしても、趣味にしても、遊びにしても、それはみな、気の合う人、自分に都合のよい人でありましょう。そこには、気の合わない人、都合の悪い人を疎外していくのではありませんか。「仲間づくり」は、同時に「仲間はずれ」をつくっていくことになってしま

います。今、コロナ禍の中、最近の挨拶は「ワクチン接種は終わりましたか、まだですか」と始まる私がいいます。接種を終えた人は、終えていない人に対して、どこかで安心感がありますが、やがて優越感になってしまいます。ワクチン接種を拒む人も、接種を受けたくても受けられない様々の理由や事情もあるにもかかわらずです。

蓮如上人は、同朋をつくったものではありません。出会われた人、すべての「いのち」の中に、「御同朋」を見い出していかれたのです。

法座・行事案内予定

8月

1日〜12日 盆参り
13日〜15日 午後1時 孟蘭盆会
18日 午後1時 婦人会
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

9月

1日 午後7時 公開学習会
7日 午後1時 群萌の会
8日 午後1時 マヤの会
10日 午後1時30分〜3時30分 公開講演会 黒秋 昌師
13日 午後1時 初心の集い
16日 午後1時 同朋の会
18日 午前10時 婦人会報恩講
18日 午後7時 壮年の集い
22日〜24日 午後1時 秋季彼岸会 水上 尚澄師
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

10月

1日 午後1時 公開学習会
7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光師
8日 午後1時 マヤの会
13日 午後1時 初心の集い
16日 午後1時 同朋の会
16日 午後7時 壮年の集い
18日 午後1時 婦人会
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

11月

1〜5日 旭川別院報恩講
1日 連夜〜3日 日中 寺沢 三郎師
3日 連夜〜5日 御満座 金石 晃陽師
7日 午後1時 群萌の会
8日 午後1時 マヤの会
13日 午後1時 初心の集い
16日 午後1時 同朋の会
18日 午後1時 婦人会
20日 午後7時 壮年の集い
28日 御正忌
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

輪番感話 ⑤

今年五月、幼なじみの親友Kちゃんが亡くなった。小学校から中学校、高校といつもよく遊び、良いことも、悪いことも好き思い出となっていた。最近では家族ぐるみで外食をしたり、カラオケを楽しんだり、お寺のお世話も進んで行って下さっていたが、二年前、筋萎縮性側索硬化症(ALS)を発症したのである。十万人に一人という難病で、多くの場合余命二年から五年といわれている。

昨年、京都のALS患者の女性がSNSのみでつながった二人の医師によって、安楽死依頼の殺人事件として報道された。その女性は心身ともに想像を絶する苦しみであったと思われるが、死を選ぶことしかできなかったことは、悲しくも痛ましい事件である。さて、Kちゃんは二年前、私達との忘年会の折りに、私にALSであることをうち明けたのである。私は一瞬絶句したが、今の医学だったらよい薬もあるのではとか、もつと違う病院で検査してもらったらと、無責任なことを言いながら、その場を避けてしまったのである。

その後病状が悪化し、昨年の秋に入院されたが、治療の方法がなく今後のことについて先生から、人工呼吸器を装着するかどうかを、本人と奥様に聞かれた際に、「俺は人生を全うしたんだ。悔いはない。人工呼吸器は絶対につけない。」と云って退院されたのである。先生からは人工呼吸器をつけなければ、二週間しか持たないと云われたことを後に奥様から知らされたのであるが、懸命な看護と介護により、自宅療養の末、五月に命終されたのであった。Kちゃんの通夜・葬儀をお勤めし、尽七日を迎え、いつも亡き人とむきあっていたながら、無力さと深い悲しみ。縁起の道理であり、身の事実、いのち本来のこととは理解しているが、その本来・事実・道理に背き、逃避している自分がある。

「掛け替えのない、奇跡のような一瞬」を生きているにもかかわらず。(太田 法生)

旭川別院大谷婦人会報恩講のご案内

日時 九月十八日(土) 午前十時

内容 お勤め・法話(輪番)

会場 旭川別院本堂

※詳細については、連絡網でお知らせします。

※旭川別院ご門徒の女性は、全員婦人会員です。

盂蘭盆会納骨堂申経について

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、従来の各納骨堂壇前のお参りは止め、中央本尊前にて時間を決めて合同でお参りします。ただし、一階・二階の納骨堂においては、間隔が広いので、各納骨堂壇前でお参りします。

※午後十二時半〜十四時半迄は控えさせて頂きます。

盂蘭盆会のご案内

お盆とは、正しくは「うらぼん」と言います。『仏説盂蘭盆経』から起ったものです。左記の日程で勤めますので、お知らせいたします。

記

■八月十三日(金) 初盆者追弔会

■八月十四日(土) 盂蘭盆会

■八月十五日(日) 全戦没者追弔会

午後一時より本堂にてお経が勤まり法話がございます。

講師 荻前町 恵嶺寺 真栗 義丸師

公開講演会のご案内

本年度二回目の公開講演会を左記の日程で行いますので、お知らせいたします。

— どうぞご参詣下さい —

日時 九月十日(金) 午後一時半より

場所 旭川別院本堂

※詳細は電話(二二二四〇九)でご確認ください

講師 黒萩 昌師

演題 「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」

公開講演会・暁天講座報告

去る、七月八日午後六時より公開講演会、七月九日午前七時二十分より暁天講座が開催されました。講師は石川県光園坊・佐野明弘師をお迎えし演題「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」でお話を頂きました。

公開講演会

暁天講座

秋季彼岸会

令和三年 九月二十二日(水)〜二十四日(金)

午後一時より本堂にてお経が勤まりご法話があります。

ご参詣下さい。

講師 幌加内 最勝寺 水上 尚澄師

令和三年度(通常)院議会を開催

六月二十三日、大谷ホールにて令和三(二〇二二)年度旭川別院院議会(通常会)が開催されました。当日は二十二名(委任状八名・欠席五名)が出席。議長には加藤亨議員、議事録署名議員には、松澤正樹議員及び向井敏純議員が選出されました。議会において二議案(議案別記)が上程され、慎重審議の結果、すべての議案が全会一致で可決されました。なお、二〇二一年度の予算につきましては、本年三月二十九日に開催された臨時院議会において、全会一致で可決されました。

議案

第一号 二〇二〇年度決算に係る件について

第二号 常議員の互選に係る件

報告

(1) 院議会議員に任期満了に係る件

(2) 監事の任期満了に係る件

(3) 納骨堂等改修工事について

(4) 報恩講について

(5) 現如上人の百回忌法要について

(6) 宗祖親鸞聖人誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の団体参拝について

(7) 公開講演会及び暁天講座について



私の祖母は四十歳後半で住職に先立たれて、その当時、学生であった父と二人で御門徒様のお力添いを戴き寺と家庭を切り盛りし、その姿は持前の人当たりの良さと物怖じしない性格も幸いし、周りの方々から「お寺の奥さん」と親しまれて、自分自身も意

伊藤 孝順

真宗大谷派秀清山昭法寺住職



ばあちゃんの遺産

仏 法
こ あ
れ れ

道内御法話巡り

ある時、お寺の法座にその方がお参りに来ていて、いつものように祖母は腹立たしさを感じていました。その日お越しになられていた布教使様の御法話の雑談で「いいですか皆さん。人の悪口を言うことは、天に唾を吐くようなことです。上を向いて天に唾を吐いてみなさい、その唾は自分のところに落ちてくるのです。人の悪口は言っ

ばあちゃん子であった私は祖母からは数々のものを与えて戴きました

『正信偈』で途中、導師が一人発声する「善導独明仏正意」のところに善導

識していたそうです。ただ、祖母が言うには一人だけ自分のことを陰口する方がおられたそうで、陰口は不思議と本人伝わるもので、その方が会話している姿を見るたびに不快感を抱いていたそうです。

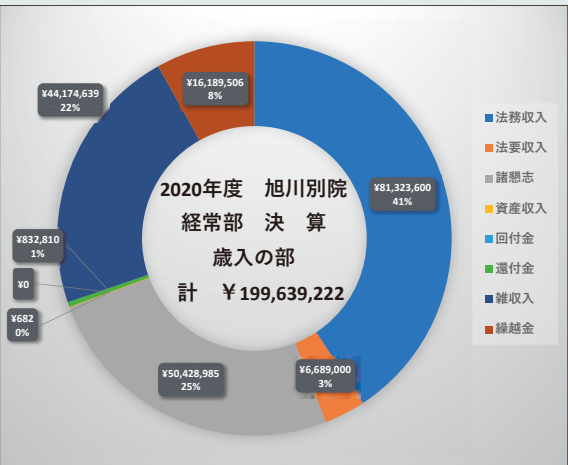
大師という七高僧のお名前が出てきます。善導大師はお書きになられた『観経疏 序分義』で「経教はこれを喩うるに鏡のごとし」と述べると共に、お経を読み訪ねるのであれば、仏様の智慧が開かれ、苦しみが楽に転じられると教えて下さっています。

人のところに「問題あり」と見ている時は、批判、不快、腹立ちなどを抱き、それでいて自分には正しさを握り、上から目線で見ているのではないのでしょうか。しかし、眼が人から己に向いた時、自分に思いつき、邪ま正義、偏見などがあることに気づかされるのです。ただ、自分の都合でしか見れないもので、自分を本当に知ること

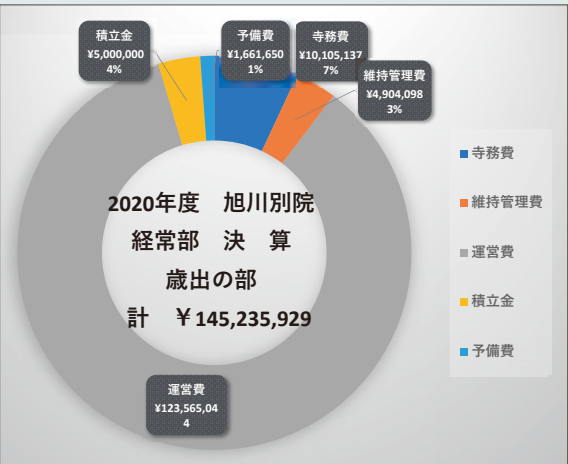
2020年経常会計決算並びに2021年度予算

<2020年度決算>

2020年度歳入決算	
法務収入	¥81,323,600
法要収入	¥6,689,000
諸懇志	¥50,428,985
資産収入	¥682
回付金	¥0
還付金	¥832,810
雑収入	¥44,174,639
繰越金	¥16,189,506
合計	¥199,639,222

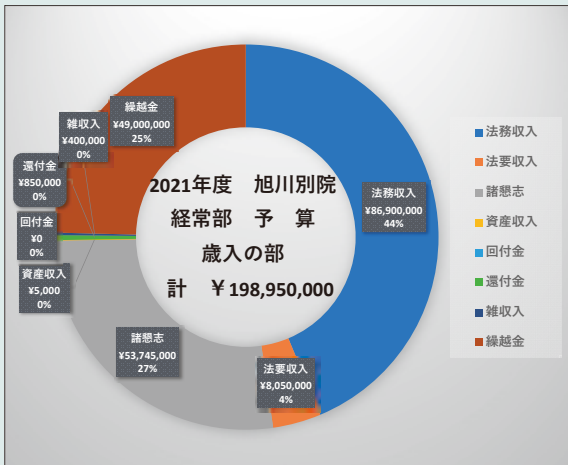


2020年度歳出決算	
寺務費	¥10,105,137
維持管理費	¥4,904,098
運営費	¥123,565,044
積立金	¥5,000,000
予備費	¥1,661,650
合計	¥145,235,929

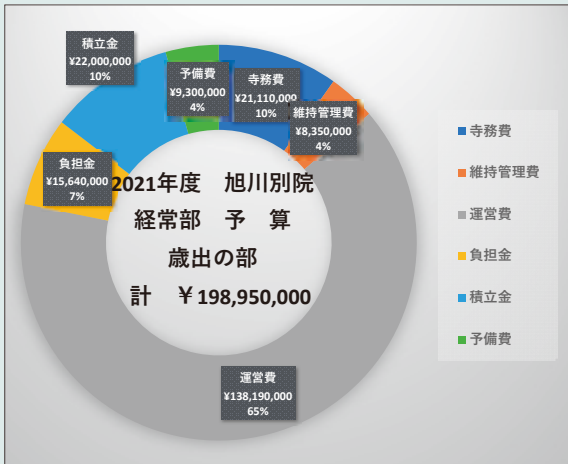


<2021年度予算>

2021年度歳入予算	
法務収入	¥86,900,000
法要収入	¥8,050,000
諸懇志	¥53,745,000
資産収入	¥5,000
回付金	¥0
還付金	¥850,000
雑収入	¥400,000
繰越金	¥49,000,000
合計	¥198,950,000



2021年度歳出予算	
寺務費	¥21,110,000
維持管理費	¥8,350,000
運営費	¥138,190,000
負担金	¥15,640,000
積立金	¥22,000,000
予備費	¥9,300,000
合計	¥198,950,000



幼稚園型認定こども園 旭川別院附属 大谷さくら幼稚園

* 旭川別院附属大谷さくら幼稚園便り *

入園式、始業式が行われ、二〇二一年度が始まりました。幼稚園の子ども達は様々な体験を通して、心と身体がぐんぐんと大きく成長しています！

本堂参り

幼稚園の子ども達は、毎日お遊戯室の仏様に手を合わせています。月に一度、本堂にもお参りに行っています。お寺の方のお話を聞き、生き物の命をいただくことに、ごめんなさい、いただきます。ありがとうございます。これからも、の気持ちを大切にならねばなりません。これからお話を聞かせていただきます。



幼稚園のバスでお出かけしたよ！

4歳児ばんだ組
花菜里ランド

3歳児こあら組
常盤公園



5歳児きりん組
旭山動物園



毎日わくわくする園がいつぱい！

自然の不思議や、様々な素材に触れて遊びます。
片栗粉スライム
(2歳児つき組)



不思議な感触に夢中になっています。

お砂場遊び

(1歳児りす組)



砂で汚れても、気にしません！

お散歩

(0歳児ひよこ組)



草花に触れてみます

雨の日のお散歩



大きなふきの傘を発見！

色水作り

(4歳児ばんだ組)



すり鉢で色々な草花をすりつぶし、水を加えます。

絵の具遊び

(3歳児こあら組)



大好きな絵本「たまごのあかちゃん」のたまごの殻に、手形をパタパタ

何が降ってきたの？



突然降ってきた雪に驚く子ども達

ご門徒の声

「縁」

門徒

塚本 信樹



私と旭川別院(真宗大谷派)との出会いは、祖父母が熱心な別院の檀家で、私が小学校入学前から別院の集まりに連れて来られた事が始まりだと思っています。また毎朝食事前に祖父母が仏壇に向かい「正信偈」を唱え、それを私は祖父母の背を見ながら意味も解らないまま聞いていたのが「真宗」との出会いだっただけです。それが小学五年頃まで続いていたのを覚えておられます。(祖父母は毎日、日課のように続けていたのを覚えておりました。)

私は高校卒業後、進学・就職と実家を約三十年離れており、別院とも無縁の期間がありました。

平成六年に父が病に倒れ、帰郷しました。(父は私が帰郷した後、まもなくして完治。またそこで毎月の先祖の月参りで別院との繋がりが縁ができたのです。)

平成十四年八月に父が逝き、四十九日のお参りに来てくれた列座さんから「檀家のご子息達が集う勉強会があります」と「壮年の集い」に入会を進められ、私も「正信偈」に興味がありましたので、これも「縁」だと思いついて入会しました。仏教について学んでいく内に自身の解釈と随分差があることを学び、特に「縁」について興味を湧き、別院の講座に来て下さる講師の方に「縁」についてよく質問したものです。が未だ結論が見出せず、現在も自分なりに思案中です。私個人の解釈では「縁」とは自身の心の中で知られることかもしれない。縁無き衆生は度々「生かされている」と心に念じ、我を捨てることに努力をしているが中々難しく、こう考えさせられることも「縁」なのかなと思います。

結びになりますが「壮年の集い」も時が経ち「高齢の会」になりつつあります。この文を読まれた檀家の皆様にお断りをいたします。当会は大変勉強になる機会を与えてくれます。皆様方のご子息(女)、あるいはご本人でもよろしいですから、願ひも「機縁」となることを信じて是非入会をお願いいたします。

うどんダ

浄土真宗の開祖親鸞聖人は幸せを求められなかったようです。主著の「教行信証」には「幸」という言葉は一度も使われません。私達の求める幸せはすぐにひっくり返ってしまうことをご存じだったかも知れません。代わりに「真実」という言葉は百三十以上出てきます。決して変わることはない確かなもの(真実)を求めて聖人は生きられたのでしょうか。そして聖人は、必ずあなたを救うと誓われた阿彌陀仏という仏さまこそ真実であると私達に教えて下さいます。

現代コロナ禍を生きている私達にとって、マスクの着用は毎日過ごす中で欠かせない物となりました。世論調査で外出時にマスクをしていない人を見かけると「気になる」と答えた人が八十七%にも上るデータがあるそうです。一昔前にはマスクをしている人は風邪等で体調を崩している人だから、移されないようにしようという意識が、移る事があつたかと思ひます。しかし今ではマスクをしていない人を見かけると不安を覚える、逆に怖いと感じる人が多いようです。

私達の住んでいる世間は時代によって、常識であつたり正義というものは移り変わるのです。そんな世間の中で損した得したとか、勝った負けたとか、移り変わるものに執心しながら日々生きているのが私達の現状でないでしょうか。右往左往して生きる自分の姿を改めて知らされること、これが真実の阿彌陀仏との出遇いではないでしょうか。

小宮山

真宗大谷派 旭川別院

歴史ある本来の姿での儀式

旭川別院を会場とした葬儀が執り行えるよう準備を致しました。亡き故人とお別れを告げるだけの告別式ではなく、故人との繋がりを大切に、仏教本来の儀式に基づいた葬儀です。どうぞご利用下さい。



大谷ホールは、大きな会場で設備も豊富に備わっております。小規模でなくとも野卓でお葬式をされた方は是非ご利用ください。



使用料 (祭壇・会場費込)

- 各広間……………100,000円 (税込)
- 大谷ホール……………150,000円 (税込)

※詳細は別院迄 TEL 0166-22-2409